

令和5（2023）年度第2回県西地域医療構想調整会議及び
第2回県西構想区域病院及び有床診療所会議 結果報告書

- 1 日 時 令和5（2023）年10月27日（金）19時00分から20時15分
- 2 場 所 上都賀庁舎5階大会議室
- 3 出席者 県西地域医療構想調整会議委員等
- 4 議 題（上都賀郡市医師会副会長の伊藤委員が議長に選出）
 - (1) 栃木県保健医療計画（8期計画）素案の概要【資料1】
 - 医療政策課から、配布資料に基づき説明。質疑等なし。
 - (2) 栃木県医師確保計画（8期前期計画）の策定【資料2】
 - 医療政策課から、配布資料に基づき説明。質疑は以下のとおり。
〈日光市民病院 杉田管理者〉

事務局の説明にあったとおり、県西地区は非常に医師が少ないということがはっきりしたと思うが、私は国の「医師少数区域等で勤務した医師を認定する制度」に登録した。この登録により、要件はあるものの研修の経費等について病院の方でも補助が受けられると聞いており、他県ではこの補助制度があるようだが、昨年確認したところ栃木県では補助制度がないとのことであった。この地域で勤務する医師を雇用する病院にとっても非常にメリットがあるものと考えているが、県ではどう考えるか。

〈医療政策課 早川主幹〉

昨年度予算化に至らなかったが、課題と認識している。引き続き検討していきたい。
 - (3) 栃木県外来医療計画（8期計画前期）骨子案の概要【資料3】
 - 医療政策課から、配付資料に基づき説明。質疑等なし。
 - (4) 医師の働き方改革について【資料4】
 - 県西健康福祉センターから、配布資料に基づき説明。質疑等なし。
 - (5) 外来医療計画に係る医療設備・機器等の効率的な活用について【資料5】
 - 県西健康福祉センターから、配布資料に基づき説明。質疑等なし。
 - (6) その他
 - 医療政策課から、「地域医療提供体制データ分析事業」について説明。質疑等なし。

- 地域医療構想アドバイザーから、以下のとおりコメントがあった。

〈栃木県医師会 稲野会長（地域医療構想アドバイザー）〉

県西地域の問題点としては、医師数が少ないということ、産科・小児科においても少ないということが一番だと思う。ただし、医師数ということだけでなく、医師を連れてきたとしても勤める場所がないと力を発揮できないため、産科や小児科はいわゆる箱となる新規開業や今ある病院に産科や小児科を新設することに向けて検討しなければならないだろうと思う。

〈栃木県医師会 白石常任理事（地域医療構想アドバイザー）〉

医師の働き方改革の議題があったが、県西からは日本医師会（評価センター）への申請が出ていないが、働き方改革は関係ないということではなく、それぞれの医療機関で推し進めなければ、そこで働く医師は来なくなってしまうと思う。医師の健康と、何よりも環境が良くないと医師は減ってしまう。働く環境を良くすることが一番だと思う。また、医師が少ない中で、どうしたら残ってくれるかということについては、栃木県出身者はもちろんだが、出身者以外が栃木県で研修を行った際に如何に良かったと思ってもらえるかによって、残ってくれたり戻ってきてくれたりすることもあると聞く。いろいろな病院や診療所におかれては、引き続き来られた医師に対して手厚い対応をするなど、医師確保の取組に協力いただきたい。